

魅力ある職場としての農業経営体をめざして

農事組合法人 福成
代表 野口 信一

1 はじめに

当組合は、平成 18 年 2 月に設立し、集落及び近隣集落の離農される方の農地の受け皿としての機能を果たしている。平成 18 年に第 1 回のプラン認定を受け、以下を目標に経営を行ってきた。

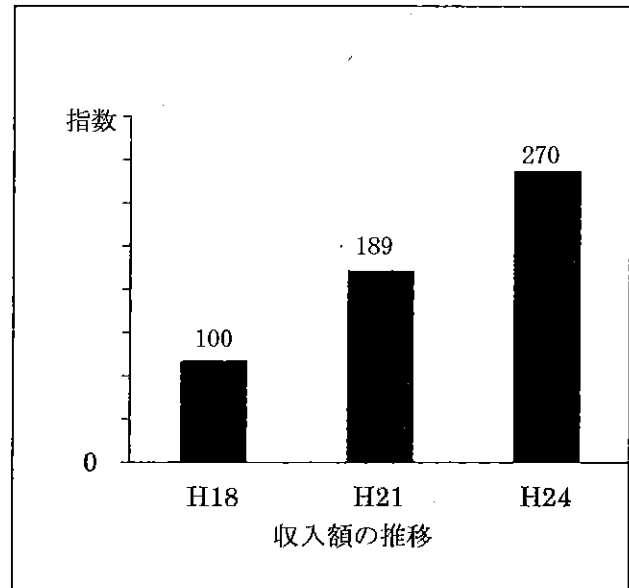
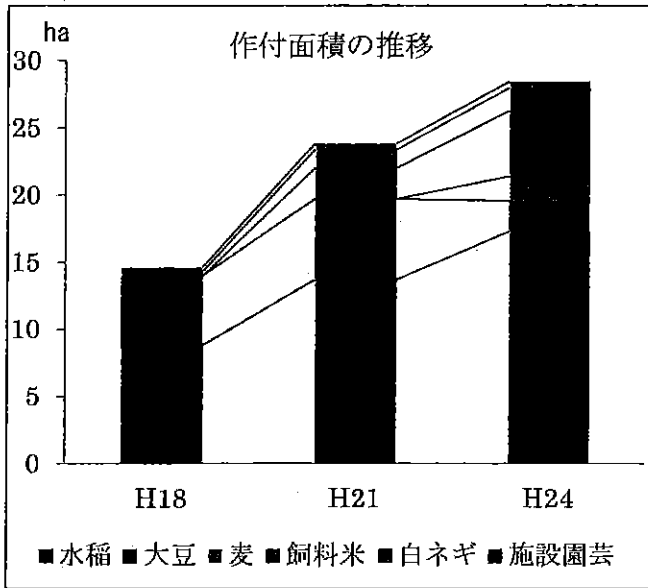
- 及び近隣集落の高齢化等による離農農地の受け皿として、平成 21 年までの目標として、土地利用型作物（水稻＋大豆）で 20ha の利用集積。
- 大型農業機械の効率的保有、利用による低コスト化。
- 消費者、実需者と結びついた「売れる農産物」の生産による経営の安定
- 後継者が魅力ある産業として就農できる労働報酬を確保
- 冬季の仕事確保のため、白ネギ栽培に取り組む

この結果、高齢化による離農農地の集積を行うことで、水稻や飼料米、白ネギ等の栽培面積拡大を図り、大型機械を効率的に利用しながら低コストの農業を実現できている。これにより売上および経常利益は年々増加している。また、人農地プランの受け皿として南部町の人農地プランの中でも既に、今後の中心的な担い手として認定を受けており、今後も地域の農地の受け皿として重要な役割を持っている。

今回のプランではその「人・農地プラン」の受皿として、地域農家の離農農地を、今よりさらに集積する事ができるように体制を強化することと、併せて、地域での雇用創出、ネギの周年栽培によるネギ部門での更なる経営力の強化により、収入の安定確保を図り、今後も永続的に発展できる経営体を目指す。

【設立時からの経営規模の推移】

| | 認定時 (平成 18 年度) | プラン終了時 (平成 21 年度) | 現状 (平成 24 年度) |
|---------|-------------------|----------------------|------------------|
| 労働力(雇用) | 役員 5 名、雇用なし | 役員 4 名、雇用 3 名 | 役員 2 名、雇用 5 名 |
| 経営内容・規模 | 水稻 8.8ha | 水稻 13.7ha | 水稻 17.3ha |
| | — | 飼料米 2.3ha | 飼料米 4.9ha |
| | — | — | 大麦 1.8ha |
| | 大豆 5.2ha | 大豆 6ha | 大豆 2.3ha |
| | 白ネギ 0.3ha | 白ネギ 1.4ha | 白ネギ 1.7ha |
| | 施設園芸のべ 0.6ha | 施設園芸のべ 1ha | 施設園芸のべ 1ha |
| | 作業受託のべ 69ha | 作業受託のべ 65ha | 作業受託のべ 62.6ha |
| 収入(指数) | 100 | 189 | 270 |



2 経営の現状と課題

【現状】

平成18年に設立した当組合は、当初、作付面積が14.9haで構成員は5名（70歳代1人、60歳代1人、50歳代2人、40歳代1人）で、内3人は半常勤）であったが、地域の農地の受け皿として、離農農地などの農地集積を行い、水稻や飼料米、白ネギ等の栽培面積拡大を図っていくことで、現在は作付面積が29ha、常勤役員2名、正職員5人（60歳代1人、40歳代1人、30歳代3人）となっている。

規模拡大に併せて、地域の若手の雇用や、アグリスタート研修生の受け入れを行う等、地域における雇用の場となると共に、農業人の育成にも貢献している。

法人経営では、大型機械を効率的に利用しながら低コストの農業を実現できていて、これにより売上および経常利益は年々増加している。なかでも、白ネギ栽培の拡大により、現在白ネギの売り上げが水稻に次ぐ2番目になっており、法人経営の安定化に大きな役割を果たしている。

また、高齢化による離農が進む中、農地の受け皿となる組織の存在は重要性を増してきている。以前は所有農地の一部を集積するケースが多かったが、高齢化により近年は所有農地のほとんどの集積を依頼されるケースも増えてきており、現時点でも直近には4名の農家の離農農地約5haを集積するよう予定している。今後は人農地プランによりこのような離農農家は加速度的に増えていくと予想され、地域の農地の受け皿として役割は益々重要性を増してくると考えられる。

【今後の経営の課題】

①農地集積体制の強化

地域の農家の高齢化による離農の農地が今後も多々出てくると考えられ、近隣の農地で年に7ha、3年後には21ha程度が今後でてくると予想されるので、「人・農地プラン」の受皿としてそれらの農地を集積し、現在の経営規模と合わせて50haの経営規模を目指していくために、農地を受けられる体制を強化することが課題である。

②安定した給与水準の確保のために売上を増加させる

子育て世代の正職員が安心して働ける給与水準を確保するために売上金額の増加により、経営強化をはかることが課題。

3 目標

- ①人農地プランの受け皿として50haの経営規模を目指す。
- ②売り上げ向上により給与水準で400万円の確保を目指す。

■目標達成のための具体的な課題と取組

①50haの経営規模を目指すために

1) 機械、資材の置場の確保

規模拡大をしていく上では、必要とする機械や資材が増えてくるが、現状の施設ではこれ以上の機械や資材を置く場所がない。また、規模拡大に伴って作業場での作業量も増加するので、作業を行う新たな場を確保し規模の拡大を行う。

2) 作業のさらなる効率化

現状は2台のトラクターで水稲作業とネギの作業を行っているが、ネギの作期拡大と水田部門の規模拡大により、1台のトラクターはネギにかかりつきりになるため、残る1台だけでは水稲作業が適期にこなせない。一方で、現在借上げのドライブハローで実施している作業も、規模拡大に対応し限られた期間のなかで作業を実施するには能力が足りない。このため、水田作業用のトラクターを新たに導入し、2台で水稲作業を行うと共に、大型トラクターに付ける高能率のドライブハローと畔塗り機を導入し、適期に作業が完了できるようにする。

また、規模拡大に伴い、米の乾燥量も増加するため、米の乾燥機を3台増設する。

②売り上げ増加のために

1) 収益性の高い農産物への転換

大豆と大麦は連作障害などもあり、収量が上がらなくなっており、計画しているような収益を出せていない。一方で小豆や小麦は実需者（市内のパン屋及び吉兆庵）と直接契約栽培をできるルートがあり高単価での契約が可能で、高収益が望める。より収益性の高い小豆、小麦への作物転換を行うために、今回導入を予定する米の乾燥機の3台の内、1台を小豆にも対応できる汎用型のものとする。

2) ネギの周年栽培を可能とするためネギの作業場の確保

現在乾燥機が稼働していない11月～3月の間だけ白ネギの皮剥ぎ調整作業を作業場で行っているが、白ネギ作期を拡大し周年栽培をすると、乾燥機の稼働期間及び作業場を倉庫として使用している期間も皮剥ぎ調整作業を行うようになるので、現状の作業場だけではスペースが足りず作業が難しい。そのため、新たな作業場を建設し効率的なネギ調整作業、出荷により経営安定を図る。

3) 直販のための米の品質維持と保管体制

現在米はJAの保管場所から福成の作業場に必要な時にその都度持ち帰り、作業場の一部において保管している。しかし、保管中にねずみの被害にあったりして品質

が低下しており、一度に多量の米を保管することができない。直販先を新たに開拓し、収益を向上させるには一定の在庫を福成で保管し、即座に出荷対応できるようにしておかねばならないが、現状では難しい。また、規模拡大により、作業場に機械や資材が増えるため、現在のように作業場の一部に置いて保管を行うことが難しくなる。品質を維持してかつ、効率的に保管を行わないと直販の拡大はできない。

そこで、新たに建設する資材置き場に米の保管庫を導入し、一定の在庫を高品質で維持することで、販路の新規開拓と直販数量の増加を目指す。

【今後の作付計画】 単位：ha

| 年度 | 水稻 | 飼料米 | 大麦 | 小麦 | 大豆 | 小豆 | 白ネギ | 施設園芸 (のべ) | 合計 |
|-----|------|-----|-----|-----|-----|----|-----|--------------|------|
| 24年 | 17.3 | 4.9 | 1.8 | — | 2.3 | — | 1.7 | 1 | 29.0 |
| 25年 | 19 | 4.5 | — | 2.5 | — | 1 | 2.2 | 1 | 30.2 |
| 26年 | 22 | 4.5 | — | 5 | — | 3 | 3 | 1 | 38.5 |
| 27年 | 30 | 5 | — | 10 | — | 5 | 4 | 1 | 55 |
| 28年 | 30 | 5 | — | 10 | — | 5 | 4 | 1 | 55 |

【出荷計画】 単位：袋

| 年度 | 単価 (円) | 24年 | 25年 | 26年 | 27年 | 28年 |
|-------------------|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | (袋数) | (袋数) | (袋数) | (袋数) | (袋数) |
| JA 出荷米 特裁コシヒカリ | | 1,000 | 1,000 | 1,250 | 1,250 | 1,250 |
| JA 出荷米 ヒトメボレ | | 495 | 250 | 100 | 1,150 | 1,150 |
| 直販米 (こめ蔵) | | 500 | 500 | 600 | 700 | 700 |
| 直販米 (北 高) | | | | | | |
| 直販米 (事務所窓口) | | 150 | 150 | 150 | 150 | 150 |
| 直販米 (ネット) | | — | — | 50 | 100 | 100 |
| 保有米 | | 300 | 300 | 300 | 300 | 300 |
| 米卸業者 | | 300 | 800 | 1,000 | 1,000 | 1,000 |
| 合計 | | 2,745 | 3,000 | 3,450 | 4,650 | 4,650 |

【雇用計画】 単位：人

| 年度 | 役員数 | 雇用者数 | 合計 |
|-----|-----|------|----|
| 24年 | 2 | 5 | 7 |
| 25年 | 2 | 5 | 7 |
| 26年 | 2 | 7 | 9 |
| 27年 | 2 | 7 | 9 |

平成26年に2人雇用予定

【機械利用計画】 (◎はがんばる農家プランで導入)

| 年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 |
|----------------------------------|--------|--------|--------|--------|
| 米乾燥機 5台 151石 (40,40,25,25,21) | 63.1ha | 64.4ha | 32.3ha | 32.3ha |
| ◎米乾燥機 3台 105石 (40,40,25) | — | — | 35.2ha | 43.6ha |
| ◎米保管庫 500袋 | — | — | — | 500袋 |
| トラクター 44ps | — | 19ha | 22ha | 13ha |
| トラクター 33ps (借上) | 22.2ha | 4.5ha | 4.5ha | — |
| ◎トラクター53ps | — | — | — | 22ha |
| トラクター 28ps (ネギ専用へ) | 1.7ha | 2.2ha | 3ha | 4ha |
| トラクター 20ps (施設園芸専用) | 1ha | 1ha | 1ha | 1ha |
| ドライブハロー2,800mm (借上) | 23.1ha | 24.4ha | 27.4ha | — |
| ◎ドライブハロー3,800mm | — | — | — | 35.9ha |
| ◎畔塗機 | — | — | — | 35ha |

4 事業の内容

事業内容及び役割分担 (◎はがんばる農家プランで導入)

| 内容 | 平成25年 | 平成26年 | 平成27年 | 実施主体 |
|-----------------|-------|-------|-------|---------|
| 経営規模拡大 | ○ | ○ | ○ | 福成、町、JA |
| 白ネギ作業場 200㎡ | ◎ | | | 福成、県、町 |
| 白ネギ周年栽培の実施 | ○ | ○ | ○ | 福成 |
| 給与水準の向上 | ○ | ○ | ○ | 福成 |
| 倉庫建屋 190㎡ | | ◎ | | 福成、県、町 |
| 米乾燥機 3台 | | ◎ | | 福成、県、町 |
| 新規雇用 | | ○ | | 福成、国、県 |
| 米保管庫 500袋用 | | | ◎ | 福成、県、町 |
| セミクロトラクター53ps | | | ◎ | 福成、県、町 |
| ドライブハロー 3,800mm | | | ◎ | 福成、県、町 |
| 畔塗機 | | | ◎ | 福成、県、町 |

事業計画 単位：千円

| 内容 | 平成 25 年 | 平成 26 年 | 平成 27 年 | 負担区分 |
|---------------------------|---------|---------|---------|-----------------------|
| 白ネギ作業場 200 m ² | 13,550 | | | 県(1/2) 町(1/6) 福成(1/3) |
| 倉庫建屋 190 m ² | | 14,000 | | 県(1/2) 町(1/6) 福成(1/3) |
| 米乾燥機 3 台 | | 6,000 | | 県(1/2) 町(1/6) 福成(1/3) |
| 米保管庫 500 袋用 | | | 5,000 | 県(1/2) 町(1/6) 福成(1/3) |
| セミクロトラクター53ps | | | 6,000 | 県(1/2) 町(1/6) 福成(1/3) |
| ドライブハロー 3,800 mm | | | 2,100 | 県(1/2) 町(1/6) 福成(1/3) |
| 畔塗機 | | | 2,400 | 県(1/2) 町(1/6) 福成(1/3) |

※農の雇用による県補助の高上げを利用予定

【福成法人所有の主要な施設機械の一覧】

| 機械 | 能力 |
|------------------------|--------------------|
| 作業場施設 | 241 m ² |
| 米乾燥機 5 台 | 150 石 |
| トラクター 44ps | 44ps |
| トラクター 28ps (ネギ専用へ) | 1.7ha |
| トラクター 20ps (施設園芸専用) | 1ha |
| 田植機 | 6 条 |
| コンバイン | 4 条 |

米保管庫利用計画(単位:袋)

| 保管先 | 内容 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
|------------|-----------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-----|---|
| JA 保管庫 | 月始JA保管在庫計 | 750 | 630 | 510 | 390 | 270 | 150 | 30 | 0 | | | | |
| | 福成米保管庫へ運搬 | -120 | -120 | -120 | -120 | -120 | -120 | -30 | | | | | |
| | 月末JA保管在庫計 | 630 | 510 | 390 | 270 | 150 | 30 | 0 | | | | | |
| 福成 米保管庫 | 月始米保管庫在庫計 | 500 | 500 | 500 | 500 | 500 | 500 | 500 | 410 | 290 | 170 | 50 | 0 |
| | 直販による在庫減数 | -120 | -120 | -120 | -120 | -120 | -120 | -120 | -120 | -120 | -120 | -50 | |
| | JAから運搬 | 120 | 120 | 120 | 120 | 120 | 120 | 30 | 0 | | | | |
| | 月末米保管庫在庫計 | 500 | 500 | 500 | 500 | 500 | 500 | 410 | 290 | 170 | 50 | 0 | |
| 全体 | 月始計(全在庫) | 1250 | 1130 | 1010 | 890 | 770 | 650 | 530 | 410 | 290 | 170 | 50 | 0 |
| | 出荷量 | 120 | 120 | 120 | 120 | 120 | 120 | 120 | 120 | 120 | 120 | 50 | |
| | 月末計(全在庫) | 1130 | 1010 | 890 | 770 | 650 | 530 | 410 | 290 | 170 | 50 | 0 | |